

# 令和2年度 小野小学校 学校自己評価報告書

達成度評価： A=目標達成 B=目標に近づいた C=まだ残念な状況 D=次年度の大きな課題

達成度＝評価4と3の合計の割合

| 評価項目        | 番号 | 評価内容  | 児童達成値 | 保護者達成値 | 自己評価達成値 | 達成度評価 |
|-------------|----|---|-------|--------|---------|-------|
| 高め合う子ども（体育） | 1  | 感染症予防の習慣づくり（検温・マスク・手洗い・換気等）の指導を継続したか。                         | 92.9  | 90.7   | 93.8    | B     |
|             | 2  | 登下校の交通安全や、校内事故防止などの安全意識を高める指導を継続したか。                          | 92.9  |        | 100.0   |       |
|             | 3  | 望ましい生活習慣（早寝早起き朝ご飯・メディアコントロール等）の指導を継続したか。                      | 74.8  | 84.9   | 100.0   |       |
|             | 4  | 体力づくりの活動（朝の運動など）や外遊びについて、励ましや指導を継続したか。                        | 82.7  | 93.0   | 85.7    |       |
|             | 5  | 給食指導を中心に、望ましい食習慣をつくる食育指導を継続したか。                               | 82.7  |        | 100.0   |       |
| 助け合う子ども（徳育） | 1  | いじめや差別、不登校のない、温もりや居場所のある学級づくりを進めてきたか。                         | 85.8  | 77.9   | 100.0   | B     |
|             | 2  | 「和顔愛語」を奨励し、「くんさん付け」など、子ども同士の関係が和やかになる指導を継続したか。                | 78.0  | 79.6   | 100.0   |       |
|             | 3  | 人の悲しみや痛みに対する思いやり、人の厚意に感謝する心を育むなどの「共生」の指導を継続したか。               | 85.8  |        | 100.0   |       |
|             | 4  | あいさつ・返事・言葉遣い、時間や約束を守るなど、人としてのマナーの指導を継続したか。                    | 86.6  | 89.0   | 100.0   |       |
|             | 5  | 無言そうじ・トイレスリッパ・廊下歩行など、公共のルールの意識を高める指導を継続したか。                   | 87.4  |        | 100.0   |       |
| 学び合う子ども（知育） | 1  | めあてとまとめをしっかり板書して大事にし、「主体的な学び」を意識した授業づくりを進めてきたか。               | 72.4  | 89.5   | 92.3    | B     |
|             | 2  | ペアやグループなど、児童同士の「交流活動」を意識した授業づくりを進めてきたか。                       | 85.8  |        | 84.6    |       |
|             | 3  | 遅れがちで、個別の支援を要する子への対応に努力をしてきたか。                                | 82.7  | 71.9   | 100.0   |       |
|             | 4  | 授業の終始や学習準備、姿勢などの学習規律の定着について指導を継続したか。                          | 85.0  | 84.3   | 92.9    |       |
|             | 5  | 学年に応じて、「自学」を含めた家庭学習が習慣づくように指導や励ましを継続したか。                      | 84.3  |        | 92.9    |       |
| と家庭や地域連携    | 1  | 連絡帳、電話連絡、保護者面談、家庭訪問などにより、家庭との相互理解・連携を図ってきたか。                  |       | 96.5   | 100.0   | A     |
|             | 2  | 各種よりや学年・学級メールなどで、学習や諸活動の様子について保護者に発信、情報提供することができたか。           |       |        | 93.3    |       |
|             | 3  | 家庭学習、家庭読書、メディアコントロールなどのよりよい習慣づくりについて、継続的に家庭に働きかけることができたか。     |       | 91.9   | 100.0   |       |
|             | 4  | 可能な範囲で、育友会や地域の活動に関わるように努めてきたか。                                |       |        | 80.0    |       |
| 学校運営        | 1  | 学校教育目標、めざす子ども像や授業像、重点努力事項を理解し、意識して教育活動に取り組んできたか。              |       | 93.1   | 100.0   | B     |
|             | 2  | 子どもたちの気持ちに寄り添い、集団としての成長や肯定感を育む指導や言葉かけに取り組んできたか。               |       |        | 86.6    |       |
|             | 3  | 小野地区のよさ・特色・人材を生かした教育活動に取り組んできたか。                              |       | 86.1   | 85.7    |       |
|             | 4  | 無言そうじの推進・掲示物の整備や工夫・学習園やプランターの活用などによる、校内環境の整備に取り組んできたか。        |       | 86.1   | 85.7    |       |
| チーム小野小      | 1  | 「どの子どもも愛し、どの子どもも伸ばす」という教育愛と使命感を持って職務に努めたか。                    |       |        | 100.0   | A     |
|             | 2  | 「同僚とともに研鑽に励む」「互いに学ぶ」意識で研修に取り組み、授業に生かそうとしてきたか。                 |       |        | 100.0   |       |
|             | 3  | 常に人に見られていることを意識し、言動に留意して「信頼される教師」であるように努めたか。                  |       |        | 100.0   |       |
|             | 4  | 職員間の「報-連-相」を意識した連携協力と、一体感と同僚性の高い職員集団づくりに、自分自身も進んで参画することができたか。 |       |        | 93.8    |       |
| 満足度         |    | 児「楽しい通いたい学校」/保「通わせたい学校」/職「働きやすい学校」                            | 87.4  | 88.3   | 93.8    | B     |

| 学校自己評価考察（成果と課題）   |
|---|
| <p>○コロナ禍の影響で、制約ばかりの教育活動であった。しかし、保護者アンケートでは、ほとんどの項目で80%を超える達成値となり、学校の方針や教育活動への理解や共感が得られている。学習の個別支援（知育-3）について「わからない」という回答が多く、達成値がやや低い。これは、個別支援を目立たないように行っている教師側の配慮によるものと受け止めたい。</p> <p>○「地域と共にある学校」としての取組が叶わず、翼をもがれた思いであった。それでも協議を重ね、規模縮小、参観制限、短時間終了など、できる工夫をしてほとんどの教育活動を実施し、進度も確保した。運動会の半日開催などについても保護者の理解と協力を得ることができた。</p> <p>▲体力づくり、子どもの安全に係る指導については保護者の評価も高いが、あいさつや思いやりのある言葉遣い、「くんさん付け」の呼び名などについては個人差が大きく、児童の課題といえる。</p> <p>▲児童アンケートからは、学習面で読書習慣の未定着、文字の乱雑さ、主体的な学習参加の不足などについて反省がうかがえる。生活面では、「早寝早起き」「メディアコントロール」などで課題が見られ、これは保護者も同様に感じていることがアンケートからうかがえる。</p> |

| 次年度への改善策  |
|---|
| <p>① 感染状況は見逃せないが、感染予防に万全を期し、Withコロナ、Afterコロナの創意工夫、職員チームの組織力をもって前向きで積極的な学校経営にあたる。コロナ禍によるストレスの発散、体力の維持向上のために「小野っ子元気タイム（朝運動）」はできる範囲で継続する。</p> <p>② 小野地区のよさを生かした教育活動、学校経営を模索していく。また、今年の経験を踏まえて削減できること、縮小できることは実行し、スクラップ&amp;ビルドに努める。</p> <p>③ 「2期制経験を生かした3学期制の創造」「始業時間繰り上げ」をスムーズに実施し、「超過勤務の削減」「通知表の様式変更」などによる働き方改革を推進する。</p> <p>④ 心の教育の充実のために「和顔愛語」の指導を継続し、徳育面の「めざす児童の姿」を見直す。あいさつや言葉遣い、「くんさん付け」は、生活指導部と児童会活動が連携して改善運動に取り組みさせる。あわせて、体育面・知育面の児童像についても修正し、子どもたちにわかりやすく伝えて意識化を図る。</p> <p>⑤ 学力面では、児童の「読む力」の向上を求めて、リーディングスキルを意識した授業のあり方を校内研究に位置づける。また、視写や音読、読書活動を活性化する指導に力を入れ、文字量に対する抵抗感の軽減を図る。</p> <p>⑥ 「早寝早起き」「メディアコントロール」などの生活習慣上の課題については、育友会との共通理解を図り、全校的な啓発や具体的な改善努力策を実施する。（実態調査、ノーゲームデイの取組など）</p> |

| 学校関係者評価委員の意見   |
|--|
| <p>○授業参観で先生方の丁寧な指導の様子、子供たちの頑張りの様子が分かって、とてもうれしく感じた。</p> <p>○学習の個別支援（知育-3）は教師の自己評価は「100」なので、学習理解が難しい子には懸命に個別指導してもらっていると思う。そして、個別支援は目立たないように行うという教師側の配慮も理解できる。学校の努力を保護者に理解してもらうために、機会をとらえて補足説明をしていく方がよい。</p> <p>○保護者の理解を得て3学期制へ移行するが、2期制の反省や成果を踏まえた方がいいものにしてほしい。通知表所見は文章でいただくメッセージとして有難かったが、1・2学期の所見欄削除は働き方改革において有効な手立てだと思われる。保護者面談での丁寧な情報共有という方を応援したい。</p> <p>○子供たちの文字離れ、読むことへの抵抗感の改善に図書ボランティアとしても協力していきたい。親子読書などにも取り組んでほしい。</p> <p>○婦人会など、子供たちの安全な登下校に貢献している団体のことも機会をとらえて周知に努めてほしい。</p> |

| 関係者評価を受けて   |
|---|
| <p>○次年度の学校ランドデザインについてご説明したところ、全面的なご理解をいただいた。次年度の経営方針を更に分かりやすいものにして、全職員一丸となって邁進していきたい。</p> <p>○3学期制への移行、通知表様式の変更についてもご理解と後押しをいただいた。午前中5時間制の導入など日課の工夫も含めて、教育効果を上げるよりよい学校運営と効果的な働き方改革を推進していく。</p> <p>○図書ボランティア、地区婦人会など、子供たちのために尽力下さる諸団体の存在は大変心強い。Withコロナ・Afterコロナ時代においても地域力を借りながら学校運営を進め、その貢献についても発信に努めていく。</p> <p>○保護者の皆様には今後も積極的に情報発信し、子供たちのよりよい成長のために手を携えて歩みを進めていく。</p> |